

TOSHIBA

東芝インターホン取扱説明書

トーキングエース(プレストークインターホン)

3局用親機 BP 1003

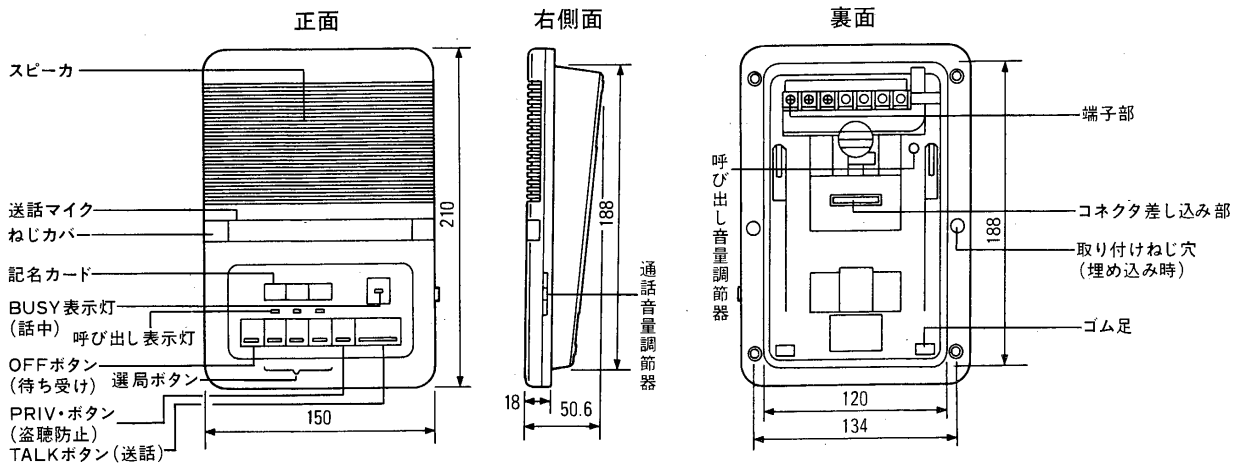
6局用親機 BP 1006

10局用親機 BP 1010

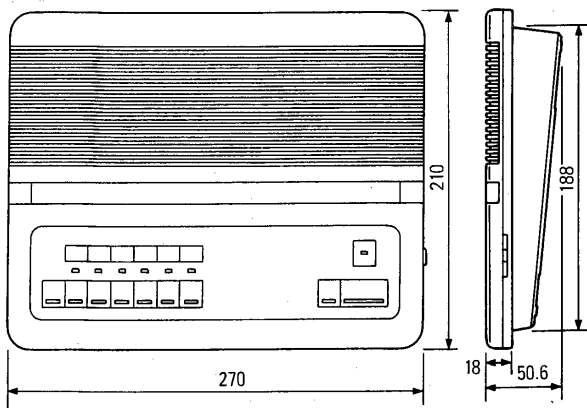
このたびは東芝インターホンをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。
お求めのインターホンを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

各部のなまえと大きさ(単位:mm)

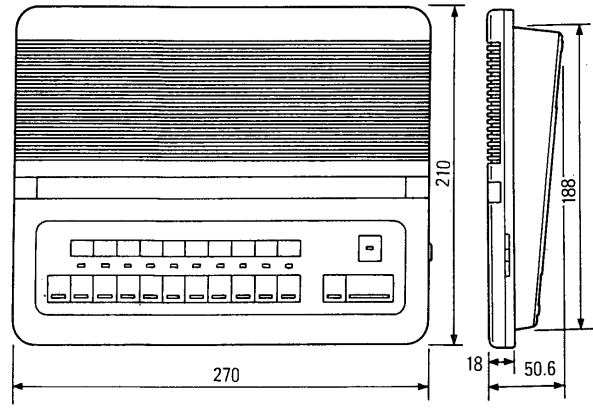
3局用親機 BP 1003



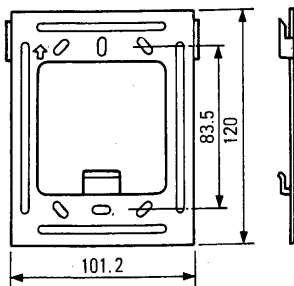
6局用親機 BP 1006



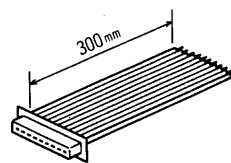
10局用親機 BP 1010



取付金具
(3局用、6局用、10局用共通)
本体裏面に付属してあります。



付属品



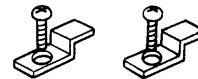
リード線付コネクタ…1個
(3局用…9線)
(6局用…18線)
(10局用…18線)



小ねじ(M4×40mm)4本



木ねじ
3.8×32mm…2本
3.8×20mm…4本

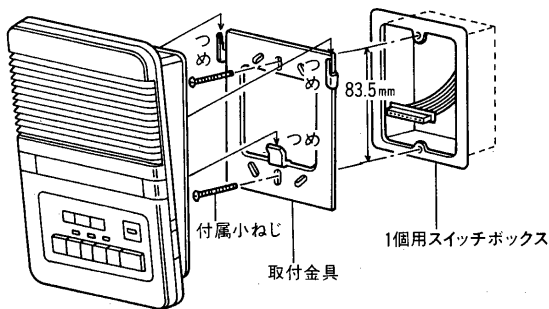


配線押さえ金具…2個
同上用タッピングねじ…2個

取り付けかた

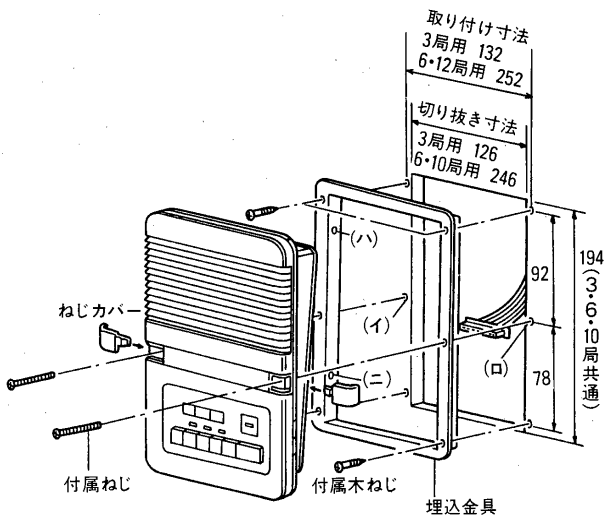
■1個用または2個用スイッチボックスに取り付けるとき

- ① 取付金具を付属のねじ(小ねじ M4×40mm プラマイ)2本ですでに取り付けられているスイッチボックスに取り付けます。6局用・10局用親機は配線数が多いので、2個用スイッチボックスを使用しますと配線接続がやりやすくなります。
- ② 配線したコネクタを本体の裏にあるコネクタ差し込み部にしっかり差し込んだのち、取付金具のつめに本体の底ぶたの引掛穴を合わせて本体を押し込み、
- ③ 下方へ引いてください。
- ④ 正しく取り付けられたか手前に引いて確かめてください。(はずれなければ取付完了です。)




■埋め込んで使用する場合

- ① 埋め込み金具を使用する場合
 - 壁面を図の大きさに切り抜き、別売の埋め込み金具を付属の木ねじで固定します。埋め込み金具を固定する前に(イ)、(ロ)の部分にねじの引け穴をあけてください。(6mmφ、深さ30mm程度)
[埋め込み金具: 3局用BTC1091, 6局・10局用BTC1092]
 - 前面からのねじ止めが困難な場合は、(ハ)、(ニ)の横穴を利用して壁の側面から固定してください。
 - 配線したコネクタを本体の裏にあるコネクタ差し込み部にしっかり差し込んだのち、左右のねじカバーをはずし、付属のねじで本体を埋め込み金具に取り付けます。
 - 最後にねじカバーを元の通り付けてください。

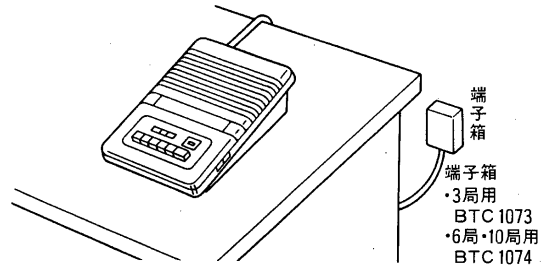


■柱や壁に取り付けるとき

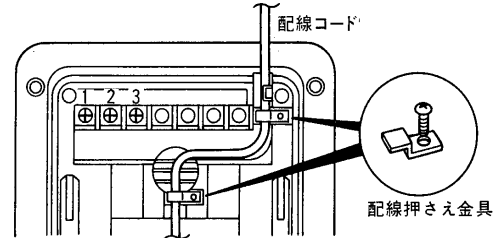
- ① 取付金具を付属の木ねじ(木ねじ3.8×20mm プラマイ)2本で柱や壁に取り付けます。
付属木ねじ-----
- ② 以後は左記のスイッチボックスに取り付ける手順と同じです。

■露出配線の場合

別売の端子箱(コネクタコード付)を 사용합니다と、配線がきれいに仕上がります。

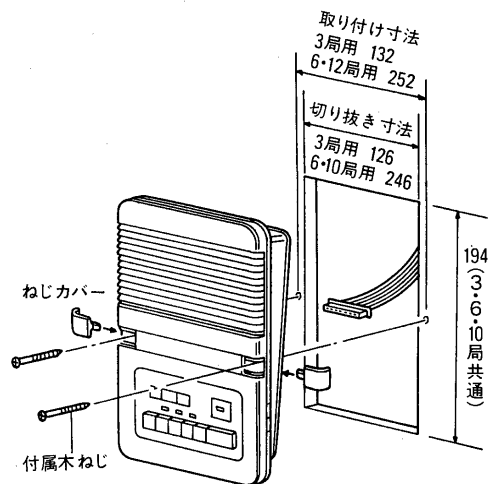


付属品の配線押さえ金具を使用して、本体裏面で配線コードを固定してください。



② 直接壁に埋め込む場合

- 壁面を図の大きさに切り抜きます。
- 配線したのち、左右のねじカバーをはずし、付属の木ねじで本体を取り付けます。
- 最後にねじカバーを元の通り付けてください。



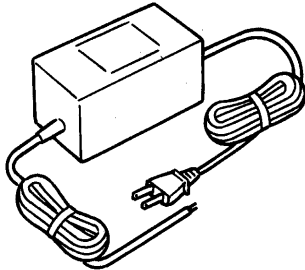
特にご注意を

- 不要な電波雑音をさけるため、空中配線やAC100V以上の配線との並行配線はおやめください。
- 本体はあけないでください。

組み合わせ接続例

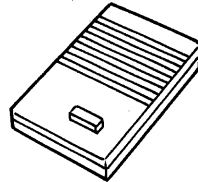
■組み合わせて使用できる機器

- 直流電源装置 HJP 1202

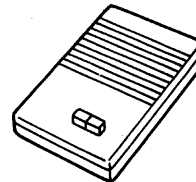


- 子機

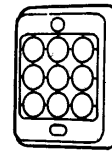
標準形(屋内用)
BP-R



盗聴防止ボタン付(屋内用) BP-RP



ドアホン子機(屋外、屋内兼用) HP-512C



- その他カタログ等に記載されている機器を接続できます。

ご注意とお願い

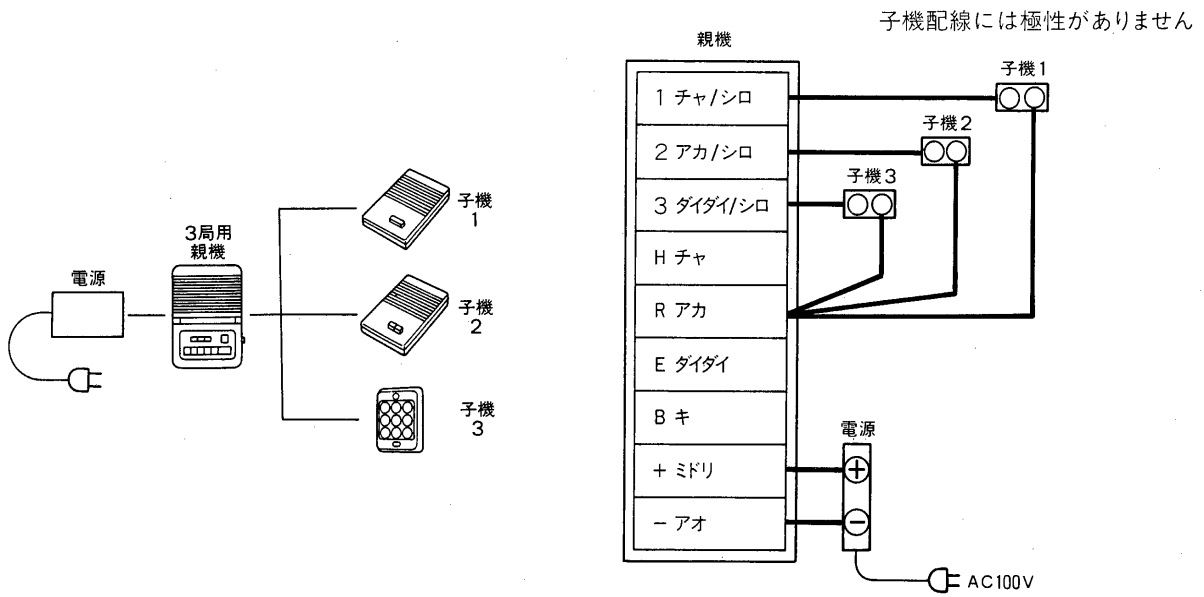
〔インターホンの配線材は距離により適正な線種をお選びください。〕
〔この取扱説明書の最後のページ(通達距離)をご参照ください。〕

■リード線付コネクタのリード線色及び端子箱(別売)の端子の説明

リード線付コネクタ				端子箱		機能説明
6局用 BP1006 10局用 BP1010		3局用 BP1003		3局用 BTC1073 6局・10局用 BTC1074		
コネクタNo.	線色	コネクタNo.	線色	記号		
1	チャ/シロ	1	チャ/シロ	1		1 番目選局・通話
2	アカ/シロ	2	アカ/シロ	2		2 番目選局・通話
3	ダイダイ/シロ	3	ダイダイ/シロ	3		3 番目選局・通話
4	キ/シロ			4		4 番目選局・通話
5	ミドリ/シロ			5		5 番目選局・通話
6	アオ/シロ			6		6 番目選局・通話
7	ムラサキ/シロ			7		7 番目選局・通話
8	ハイ/シロ			8		8 番目選局・通話
9	シロ			9		9 番目選局・通話
10	クロ			10		10 番目選局・通話
11	チャ	4	チャ	H		受信(親↔親間)
12	アカ	5	アカ	R		受信(子機から)
13	ダイダイ	6	ダイダイ	E		共通(親機間制御)
14	キ	7	キ	B		共通(親機間話中表示)
15	ミドリ	8	ミドリ	+		電源入力端子+
16	アオ	9	アオ	-		電源入力端子-
17	ムラサキ			L		使用しません。
18	ハイ			L		

[接続例1 3局用(BP1003)の場合]

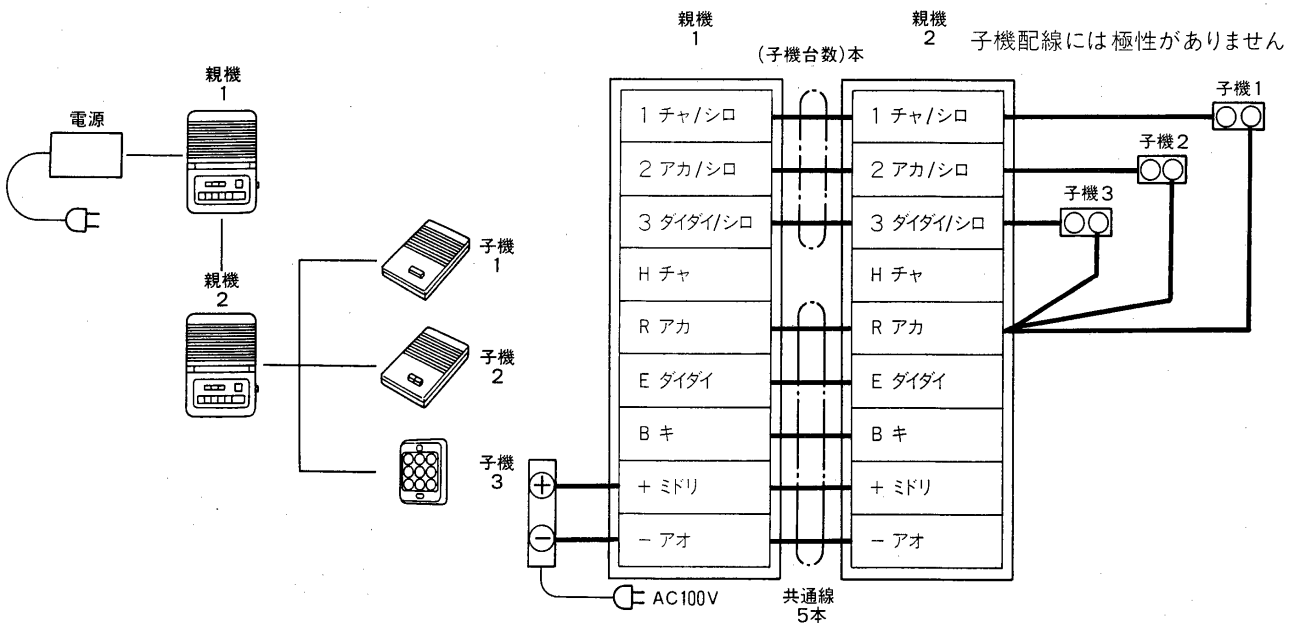
(イ)親子式接続



(ロ)親機並列接続

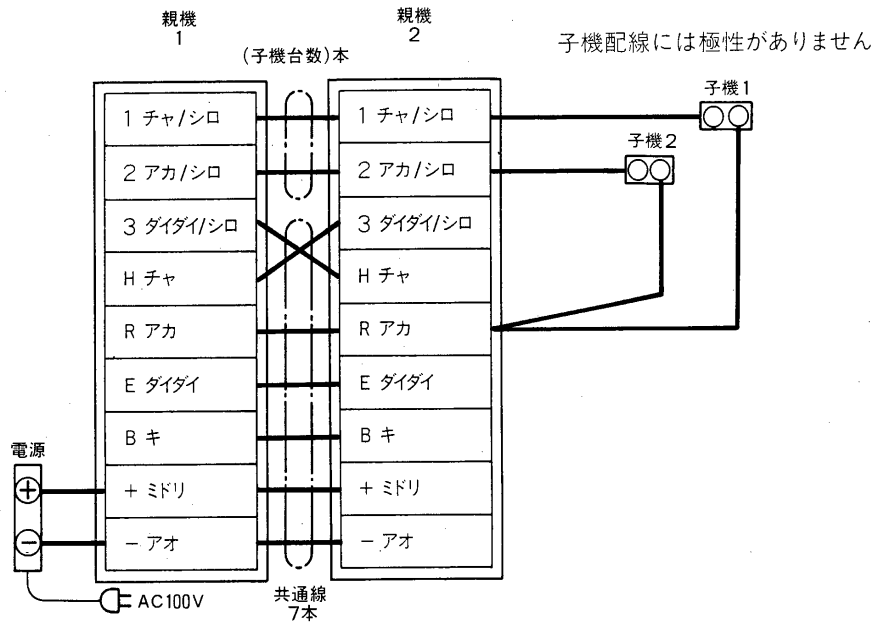
↑ 親機間の通話が不要な場合

親機間の配線数 = (子機台数)本 + 5(共通線)本
最大3台まで



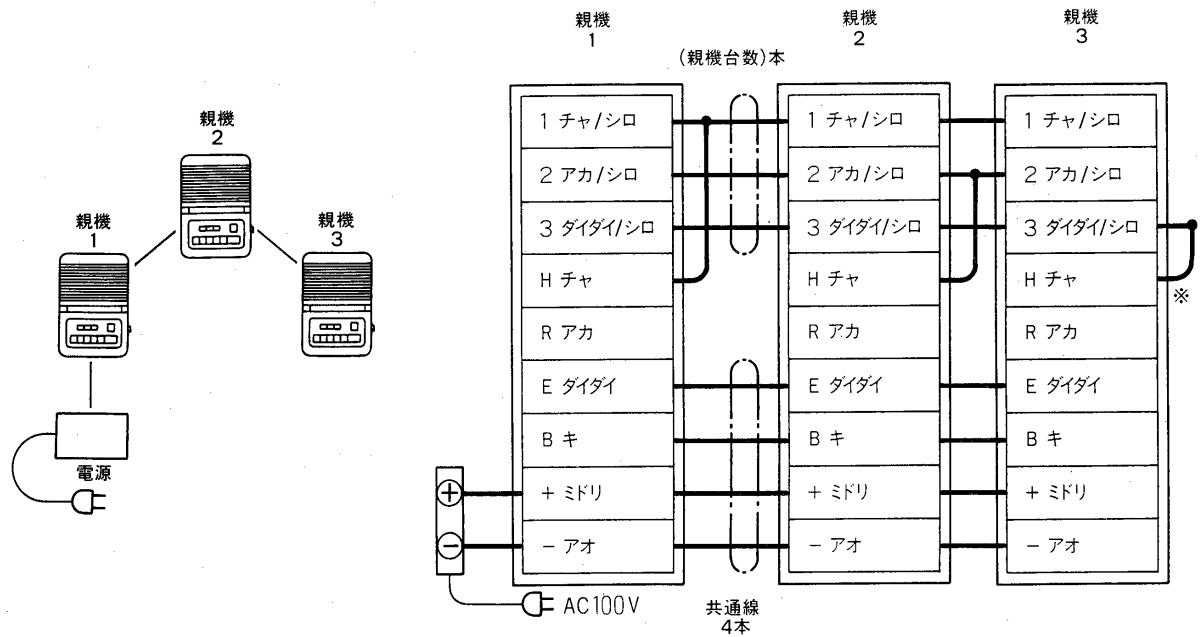
②親機間で呼び出し通話が必要な場合

- 親機間を呼び出すために選局ボタン「3」を使用しますので子機は2台しか接続できません
- 親機間の配線数 = (子機台数)本 + 7(共通線)本



(ハ)相互式接続

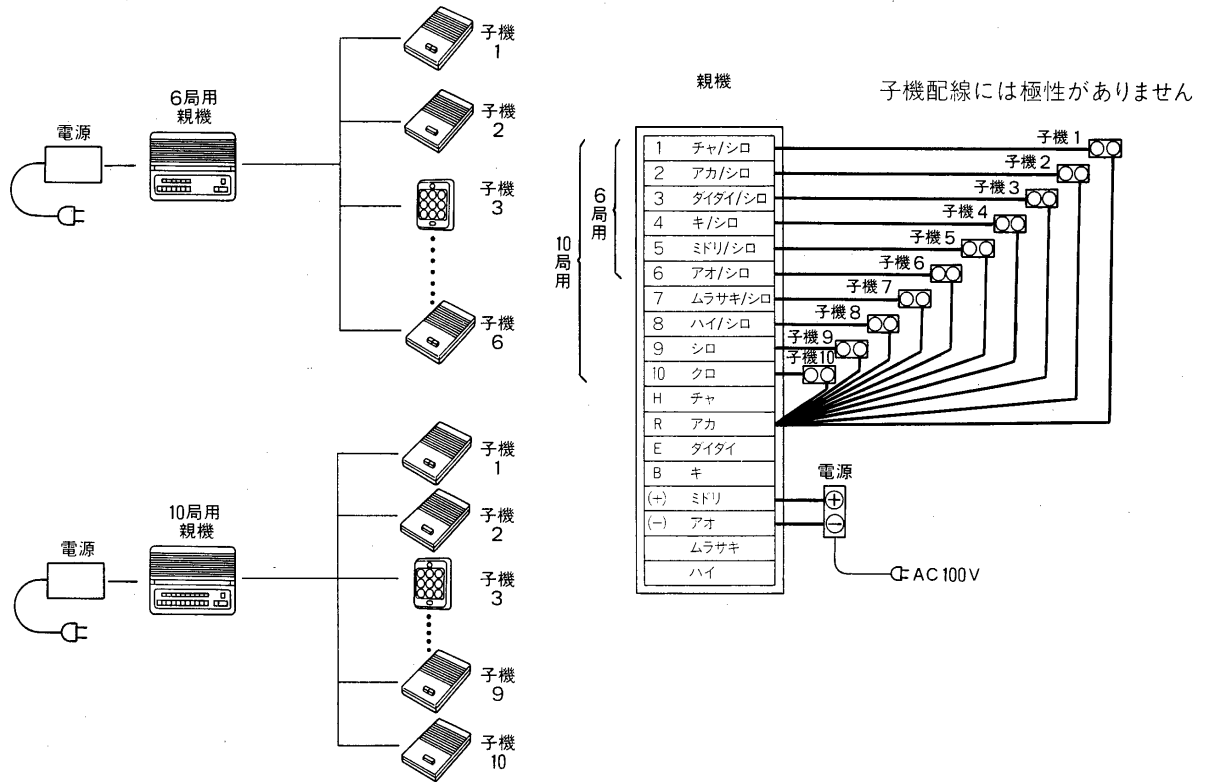
- 親機間の配線数 = (親機台数)本 + 4(共通線)本
- 電源はどの親機に接続してもかまいません。
- 配線は送り配線でも分岐配線でもかまいません。



※ **H チャ** と接続したところがその親機を呼び出す選局番号です。
 3番に決めた場合は **3 ダイダイ/シロ** と接続します。

[接続例 2 6局用(BP1006),10局用(BP1010)の場合]

(イ)親子式接続



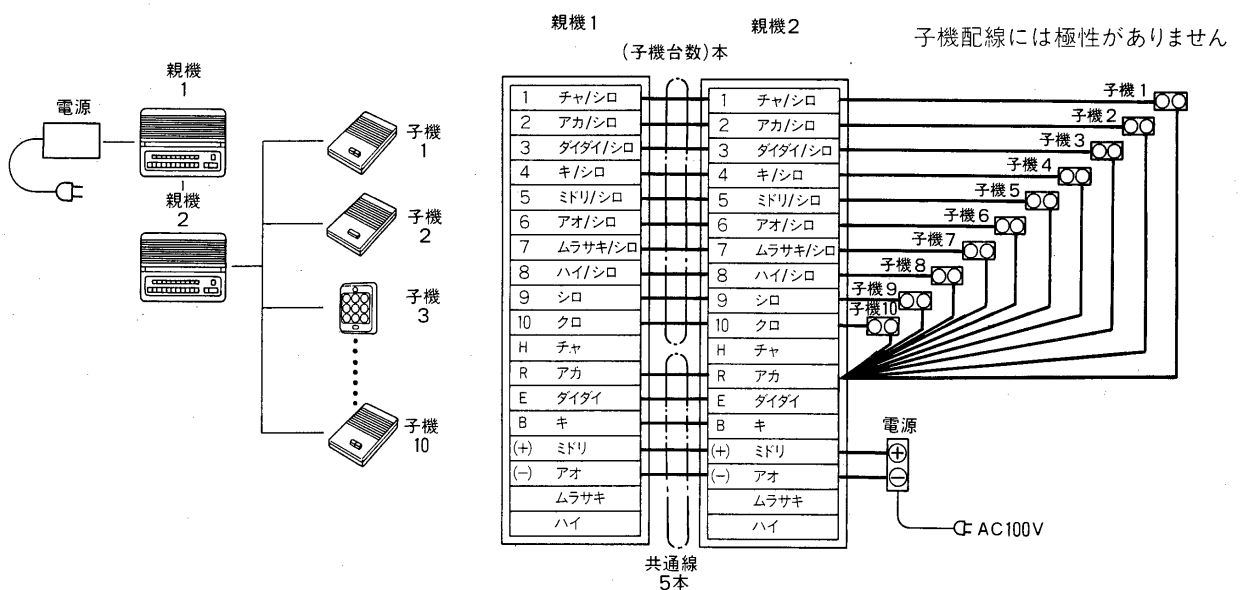
(ロ)親機並列接続

↑親機間の通話が不要な場合

親機間の配線数 = (子機台数)本 + 5(共通線)本

6局用は最大6台

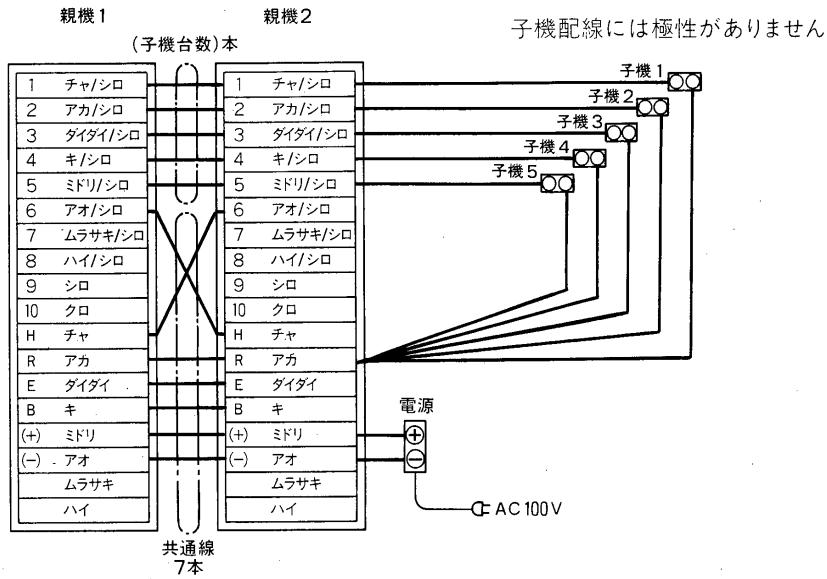
10局用は最大10台



②親機間で呼び出し通話が必要な場合

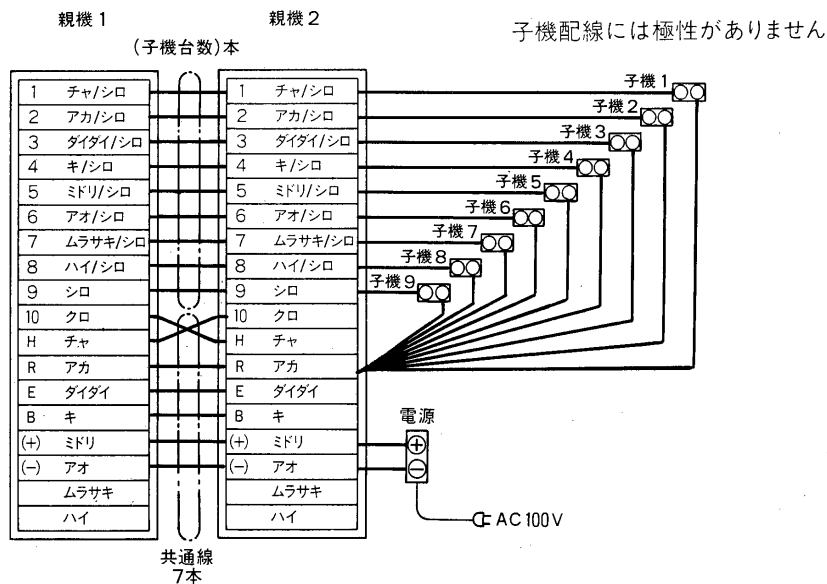
■ 6局用 BP 1006の接続例

- 親機間を呼び出すために選局ボタン「6」を使用しますので、子機は5台しか接続できません。
- 親機間の配線数 = (子機台数)本 + 7(共通線)本



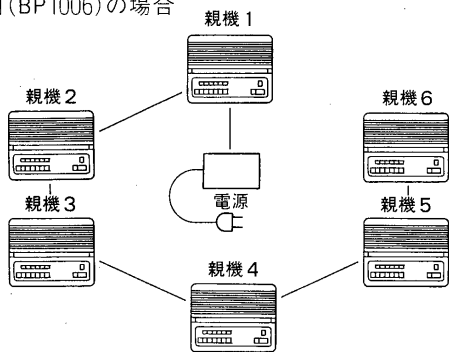
■ 10局用 BP 1010の接続例

- 親機間を呼び出すために選局ボタン「10」を使用しますので、子機は9台しか接続できません。
- 親機間の配線数 = (子機台数)本 + 7(共通線)本



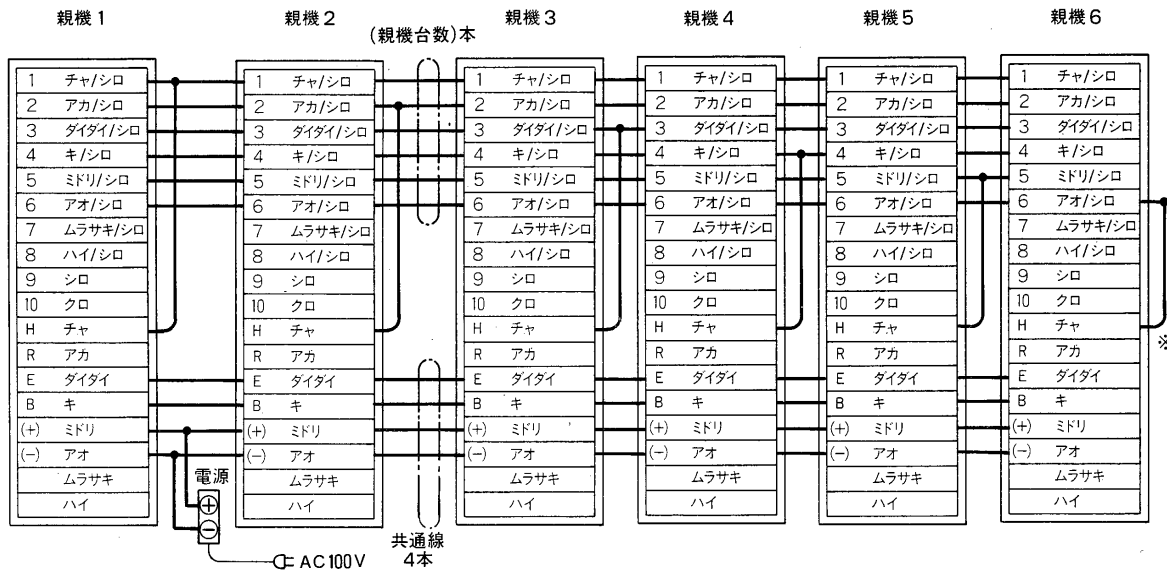
(ハ)相互式接続

↑6局用(BP1006)の場合

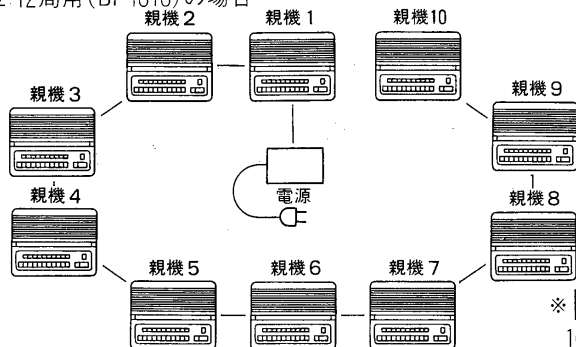


- 親機間の配線数 = (親機台数)本 + 4(共通線)本
- 電源はどの親機に接続してもかまいません。
- 配線は送り配線が好ましいですが分岐してもかまいません。ただし分岐配線の場合、多数の線が集中してきますので、線処理にご注意ください。

※ **Hチャ**と接続したところがその親機を呼び出す選局番号です。
6番に決めた場合は **6アオ/シロ**と接続します。

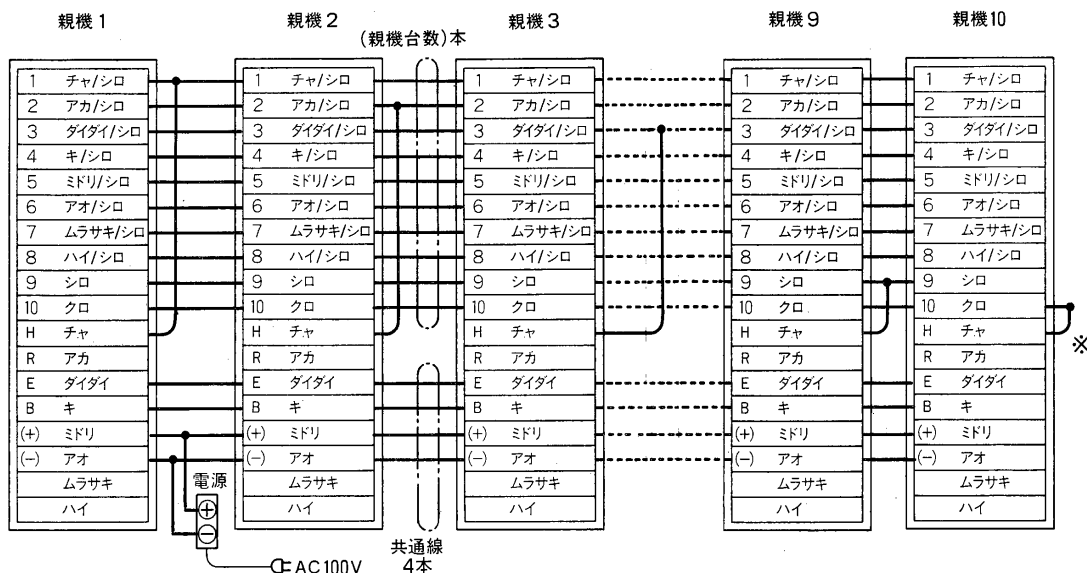


2:12局用(BP1010)の場合



- 親機間の配線数 = (親機台数)本 + 4(共通線)本
- 電源はどの親機に接続してもかまいません。
- 配線は送り配線が好ましいですが分岐してもかまいません。ただし分岐配線の場合、多数の線が集中してきますので、線処理にご注意ください。

※ **Hチャ**と接続したところがその親機を呼び出す選局番号です。
10番に決めた場合は **10クロ**と接続します。



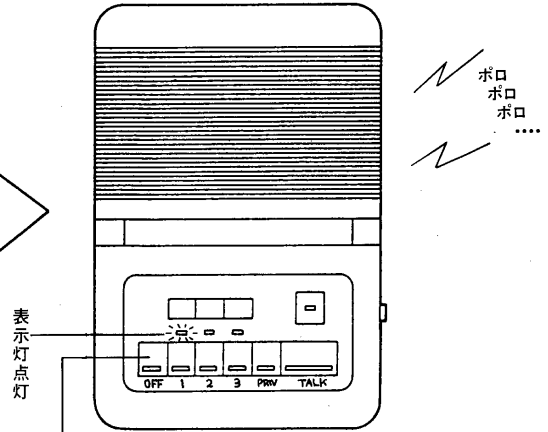
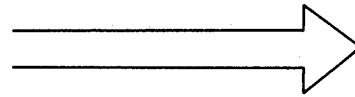
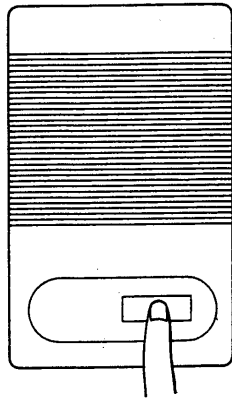
使いかた

〔呼び出しの仕方〕

■子機からの呼び出し

- 子機の呼び出しボタンを押しますと

親機では、子機のボタンが押されている間、呼び出し音(ポロポロ……)が鳴ります。同時に呼び出し表示灯が点灯し、呼び出し音が鳴り終わってから約20秒間点灯しています。



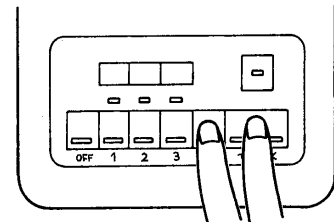
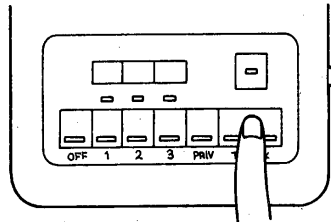
表示灯点灯

「OFF」ボタンが押し込んでないと呼び出し音は鳴りません

■親機からの呼び出し

- 子機または他の親機を音声で呼び出す場合、選局ボタンを押して相手を選局し、TALK(送話)ボタンを押しながら送話マイクに向かって話しますと相手に声が聞こえます。

- 子機または親機を呼び出し音(ポロポロ……)で呼び出す場合、選局ボタンを押して相手を選局し、2つのボタン〔PRIV(盗聴防止ボタン), TALK(送話ボタン)〕を図のように同時に押しますと相手に呼び出し音が鳴ります。



〔通話の仕方〕

■子機 ↔ 親機間の通話

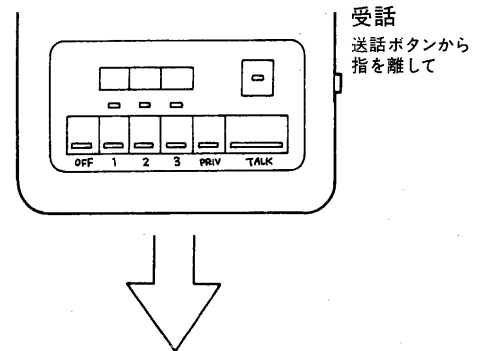
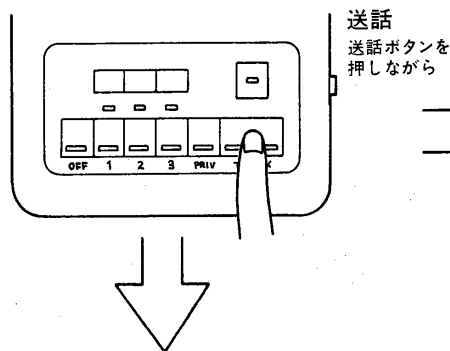
- 通話の切り替えはすべて親機で操作します。
- 盗聴防止ボタン付きの子機の場合は、一度呼び出しボタンを押し、盗聴防止を解除しなければ通話できません。

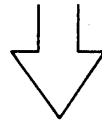
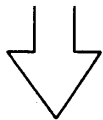
●送話……親機から子機へ

子機を選局し、図のようにTALK(送話)ボタンを押しながら送話マイクに向かって話しますと、子機に声が出ます。

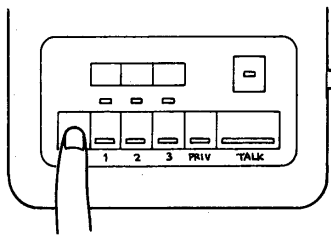
●受話……親機で子機の声聞く場合

子機を選局したまま、TALK(送話)ボタンから指を離した状態のとき子機で話しますと、親機で子機側の声が聞こえます。





通話が終わったら

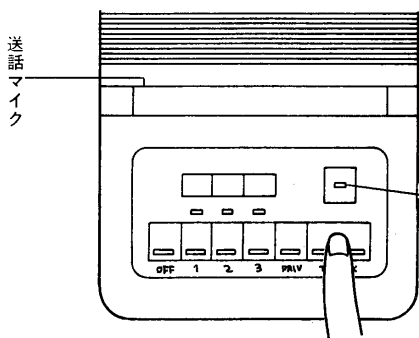


- OFF(待ち受け)ボタンを押して、選局ボタンを復旧してください。OFFボタンが押し込んでないと、次に呼ばれたとき呼び出し音が鳴りません。
- 盗聴されたくない場合は、PRIV(盗聴防止)ボタンを押し込んでください。

- 通話中に他の子機から呼ばれた場合
呼び出し音は鳴りませんが、呼び出し表示灯が点灯します。
- 親機を2台並列で使用している場合
1台の親機が通話中のとき、両方の親機のBUSY(話中)表示灯が点灯しています。その間は残りの1台は使用できませんので、消えるまでお待ちください。

■親機 ↔ 親機間の通話

- 通話の切り替えはすべて呼び出した親機で操作します。
(呼ばれた親機は操作不要です。)
- 呼ばれた親機側でPRIV(盗聴防止)ボタンを押し込んでいる場合は、TALK(送話)ボタンを一度押して盗聴防止を解除しなければ通話できません。

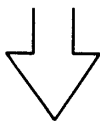


呼び出した親機側の操作

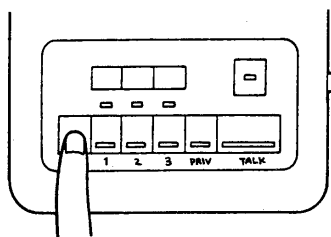
- 送話……図のようにTALK(送話)ボタンを押しながら、送話マイクに向かって話しますと相手に声が出ます。
- 受話……TALK(送話)ボタンから指を離しますと相手の声が聞こえてきます。

BUSY(話中)表示灯

通話中はすべての親機の表示灯が点灯しています。その間は他の親機は使用できませんので、消えるまでお待ちください。



通話が終わったら



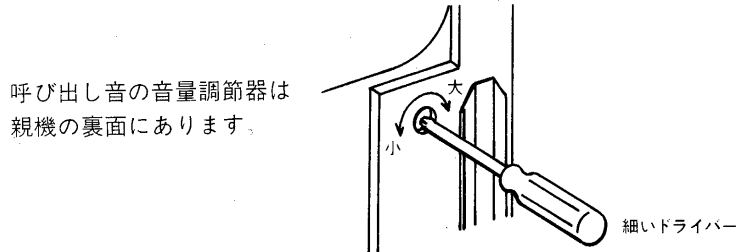
- OFF(待ち受け)ボタンを押して、選局ボタンを復旧してください。OFFボタンが押し込んでないと、次に呼ばれたとき呼び出し音が鳴りません。
- 盗聴されたくない場合は、PRIV(盗聴防止)ボタンを押し込んでください。

- 通話中に他の子機から呼ばれた場合
呼び出し音は鳴りませんが、呼び出し表示灯が点灯します。
- 親機を2台並列で使用している場合
1台の親機が通話中のとき、両方の親機のBUSY(話中)表示灯が点灯しています。その間は残りの1台は使用できませんので、消えるまでお待ちください。

呼び出し音, 通話音量の調節のしかた

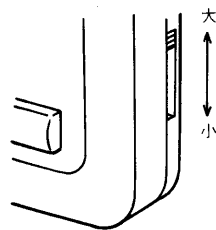
■呼び出し音の音量調節(工場出荷時には最大にしてあります。)

- 子機から親機への呼び出し音}……………親機の呼び出し音量調節器で調節できます。細いドライバー
 • 親機から子機への呼び出し音} (直径4mm以下でプラスまたはマイナス)をご用意ください。
- 親機から親機への呼び出し音……………呼び出した親機側の呼び出し音量調節器で調節できます。細いドライバー(直径4mm以下でプラスまたはマイナス)をご用意ください。



■通話音量の調節(工場出荷時には中程度にしてあります。)

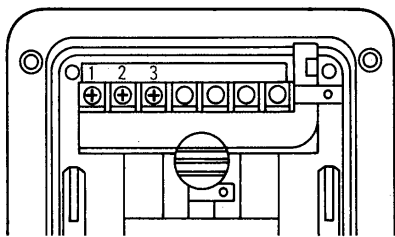
- 親機↔子機間で通話するとき……………親機の通話音量調節器で調節できます
- 親機間で通話するとき……………呼び出した親機側の通話音量調節器で調節できます



応用使用例

(子機から呼ばれた時、大きな呼び出し音を鳴らしたり表示灯を作動させる方法)

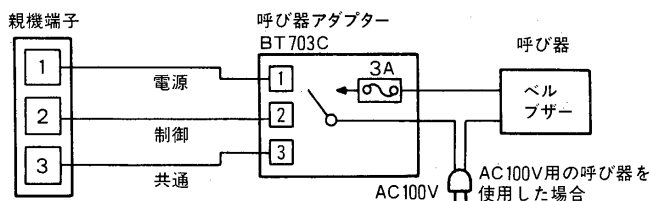
親機の裏面には図のように端子があります。端子の接続と使用例は次の通りです。



- 端子説明
- ① …… DC12V(100mA)が常時出力されています。呼び器アダプター(BT703C)の電源として使用できます。
 - ② …… 子機から呼ばれたとき DC12V(50mA)が出力されます。呼び器アダプター(BT703C:別売)の制御信号として使用できます。
 - ③ …… 共通(アース)端子

使用例

下の図のように、呼び器アダプター(BT703C)及び呼び器(ベル、ブザー、回転灯など)を接続しますと、DC12V出力信号が出ている間(呼び出し音が鳴っている間)に呼び器が作動します。



- 呼び器としてはチャイム(多点打式)も連動できます。
- 呼び器はAC100V・3A以下のものを使用できます。
- 呼び器は電源が必要です。

ご注意とお願い

このインターホンは屋内専用で-10℃～50℃の温度範囲で使用するように設計してつくられています
つぎの場所には取り付けないでください

- ストープなどの暖房器具の真上やその付近
- 直射日光のあたる場所
- 製氷倉庫など-10℃以下になる場所
- 浴室など特に湿度の高い場所
- 有毒ガスやいろいろなほこりの特に多い場所
- 水や薬品がかかるおそれのある場所

お手入れのしかた

- 本体や送受器はやわらかな布でからぶきしてください。汚れがひどいときは石けん水を浸した布をよくしぼってからふいてください。
- 機器をいためますので、ガソリン・ベンジン・シンナーなどの薬品でふかないでください。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ直流電源装置の電源フラグをコンセントから抜いて、お買いあげの販売店(工事店)または、お近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは形名(3局用はBP1003, 6局用はBP1006, 10局用はBP1010) およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

仕 様

- 通話網の方式 親子式・相互式
- 通話方式 交互通話式(プレストーク式)
- 電 源 DC 12V(直流電源装置より供給)
- 消費電流 待受時 5mA以下(親機1台当り)
最大時 400mA以下
- 呼出信号 親機 → 子機 音声または
電子トレモロ音(ポロポロ…)
子機 → 親機 電子トレモロ音(ポロポロ…)
及び表示灯(約20秒点灯)
親機 ↔ 親機 音声
- 選局方式 押ボタンによる選局
- 配線本数 親機 ↔ 子機 2本 無極性
親機 ↔ 親機
相互式の場合 4+(親機台数)本
親機並列(親機間通話が有る場合)
7+(子機台数)本
親機並列(親機間通話が無い場合)
5+(子機台数)本

• 通達距離

線種	公称断面積	0.3mm ²	0.5mm ²	0.75mm ²	1.25mm ²	2mm ²
	(本/mm)より線	12/0.18	20/0.18	30/0.18	50/0.18	37/0.26
(mm ϕ)単芯線	0.65	0.8	1.0	1.2	1.6	
通達距離(m)	300以下	500以下	750以下	1200以下	2000以下	

- 設置場所 屋内専用(使用周囲温度-10℃～+50℃)
- 重 量 3局用BP1003約520g 6局用BP1006約800g
10局用BP1010約800g
- 外観材質 プラスチック(ABS樹脂)
- 色 調 ホワイト
- 付 属 品 取扱説明書 ……………1部
東芝お客様ご相談センター ……………1部
取付金具(本体に付属) ……………1個
小ねじ(M4×40) ……………4本
木ねじ(3.8×32) ……………2本
(3.8×20) ……………4本
リード線付コネクタ ……………1個
配線押さえ金具 ……………2個
同上用タッピングねじ ……………2個